

ほたる野の野鳥観察報告

2022, 1, 25

<2022年1月15日(土)>

・観察会はコロナのオミクロンの感染急増で中止となり、同日に野鳥調査を会員と2名で実施しました。北風が吹く寒い日で午前10時半～11時半と午後1時半～2時半実施。最高気温11℃、最低気温5℃でした。普段田で良く見かけるダイサギ、アオサギが確認できず、例年既に渡って来ているツグミが見当たりません。池ではつがいのカワセミが小魚を採る姿をじっくり観察、池北側の湿地ではタシギ2羽の採餌をゆっくり見られました。翌日は風がなく穏やかで西の畦の菜の花が開花し追加調査(※印)を16日午後1時半～2時半に実施しました。最高気温11℃、最低気温2℃。

<1月22日(土)>午後1時半～2時半最高気温9℃、最低気温0℃。

<1月23日(日)>午後1時半～2時半最高気温8℃、最低気温2℃。

・両日に追加調査を実施しました。両日ともに穏やかな日でした(☆印)。枯れた二番穂が残る田で間近く3羽のタシギが飛び立ち、アオサギが採餌していました。西斜面林でオナガが確認できました。飛来の遅れていたツグミ2羽が23日やっと確認できました。

<合計26種を確認>

カルガモ、キジバト、アオサギ☆、ダイサギ☆、タシギ、カワセミ、コゲラ、モズ、オナガ☆、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ※、メジロ、ムクドリ、シロハラ、アカハラ、ツグミ☆、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、シメ※、アオジ。

担当:高橋正浩。